

2021年11月29日

SUBARU BRZ GT300が、SUPER GTで初のシリーズチャンピオンを獲得

SUBARUのモータースポーツ統括会社であるスバルテクニカインターナショナル(STI)*¹は11月28日に行われたSUPER GT 2021シリーズ第8戦(最終戦)「FUJIMAKI GROUP FUJI GT300km RACE」(会場:富士スピードウェイレーシングコース(静岡県))決勝レースに、SUBARU BRZ GT300(チーム名:SUBARU BRZ R&D SPORT*²、ドライバー:井口卓人/山内英輝)で参戦。3位表彰台に上がるとともに、初めてのシリーズチャンピオン*³を獲得しました。



SUBARU BRZ GT300


 ドライバー
左:井口卓人/右:山内英輝

 チーム総監督
小澤正弘

SUPER GTは全日本GT選手権を引き継ぎ2005年に発足したレースで、現在日本国内で人気のモータースポーツカテゴリーのひとつです。STIはR&D SPORTと共に2009シリーズよりLEGACY B4 GT300でGT300クラス参戦を開始。2012シリーズからは、SUBARU BRZ GT300で参戦しています。今シーズンは、SUBARU BRZのフルモデルチェンジを機に、新型マシンを投入*⁴。参戦13年目にして初のシリーズチャンピオン獲得となりました。

シリーズチャンピオンを獲得したことに対して、チーム総監督、ドライバーは次のようにコメントしました。

総監督 小澤正弘

「新型車の投入年にチャンピオンが獲れてホッとしています。シーズンの前半、速さはあるものの、なかなか結果につながらなくて苦労しましたが、チーム一丸となってやってきたのが良かったと思います。この最終戦では最後の最後まで気の抜けない展開でしたが、ドライバーの頑張りが素晴らしかったですね。」

ドライバー 井口卓人

「新型SUBARU BRZの投入で前半は、私自身がマシンに慣れるのに時間がかかってしまいましたが、山内選手のカバーやチームスタッフの協力もあり、そして最後はみんなが力を出し切ったのがチャンピオンにつながったのだと思います。そういうSUBARUチームが最高だし、今後もこのチームでもっと強くなりたいと思いました。」

ドライバー 山内英輝

「チームみんなが諦めずにマシンの改善に努力しているのを見て、その凄さを感じていました。みんなの思いを感じながら走ることができて幸せだったし、今年は子供も生まれて、その年にチャンピオンになれたことは、思い出に残るシーズンになりました。ファンの皆さんのこれまでの応援に感謝します。そしてこれからも応援をよろしくお願いします。」

<SUPER GT SUBARU/STI チーム過去戦績*⁵(GT300クラス)>

シーズン	2009* ⁶	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
年間順位	25	11	4	12	4	6	10	6	9	11	13	6

<SUPER GT SUBARU BRZ GT300 2021 シリーズ戦績(GT300クラス)>

	第1戦	第2戦	第3戦	第4戦	第5戦	第6戦	第7戦	第8戦
会場*7	岡山	富士	鈴鹿	もてぎ	SUGO	オートポリス	もてぎ	富士
予選順位	19	1	1	7	1	2	2	1
決勝順位	15	2	10	11	1	3	6	3

詳細は、SUBARU モータースポーツマガジン Web サイトで公開中です。

<https://www.subaru-msm.com/2021/sgt/report/>

<スバルテクニカインターナショナル オフィシャル Web サイト>

<https://www.sti.jp/>

*1:スバルテクニカインターナショナル(株)(代表:平岡泰雄、東京都三鷹市、略称:STI)

*2:(株)アールアンドデースポーツ(代表:本島伸次、神奈川県平塚市)

*3:GT300 クラス 2021 シリーズチャンピオン

*4:2021 年第1戦 岡山国際サーキットより投入

*5:2009 年~2011 シーズンは LEGACY B4 GT300 で参戦、2012 以降 SUBARU BRZ GT300 で参戦

*6:第6戦、第7戦、第9戦のみ参戦

*7:岡山=岡山国際サーキット、富士=富士スピードウェイ、鈴鹿=鈴鹿サーキット、もてぎ=ツインリンクもてぎ、SUGO=スポーツランド SUGO